

岡山県が県立大(総社市窪木)の学生と連携し、「若者の心に刺さる」をテーマに作成を進めていた県の施策をPRするリーフレットが完成した。結婚や就職支援など県が注力する分野の6種類を作り分け、それぞれ4こま漫画でユーモアを交えて紹介。県の取り組みに興味を持ってもらうことで若者、女性の県内定着やUターンにつなげたい考えだ。

リーフレットは、同大デザイン学部の学生が中心となって昨年7月から作成。ワークショップなどでアイデアを練り上げ、県特産フルーツを擬人化した「モモ岡」「ピオ姉」といった

県立大生と連携  
リーフレット  
若者にアピール

キャラクターが登場する内容に仕立てた。

6種類はいずれも県政中期行動計画に基づく施策がテーマ。



岡山県が県立大学生と連携して作った県施策のPRリーフレット

例えば「出会いはどこに」編では、恋愛に奥手なモモ岡にピオ姉が結婚支援策を紹介し「さまざまなイベントの展開で、気軽に出会いを楽しめるわ!」などとアピールする。若年層の孤立を防ぐ子ども

・若者支援プログラム、留学支援策なども取り上げている。

A4判カラー三つ折りで各3000部を印刷。県内の高校や大学などで配布する予定。

作成に携わった同大デザイン学部4年国分咲良さん(21)は「作業を通して、自分たちも県の取り組みへの理解が深まった。思わず手に取りたくなるような内容を目指しており、多くの方に読んでほしい」と話している。(立田さくら)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。